

令和4年 こども園における自己評価 認定こども園しおどめの森

4 :十分達成している 3 :ほぼ達成している 2 :検討を要する 1 :改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
ついて 教育・保育目標に	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・地域の特性を生かし保育運営することが難しかった。 ・すぐ取り組めることには取り入れられたがすべての保護者の意見に応えることは出来なかった。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	3	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	3	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ(日課)は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・保健だよりなどを通して保護者へ情報提供を行ったが家庭と連携しながら取組むことができなかった。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策(発育・発達の把握、SIDS 予防、感染症対策等)を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるかまた家庭への啓発を行っているか	3	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	3	
職員の質の向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
職員間について 運営管理・	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目	内容	評価		
開かれたこども園づくり	施設・知識との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	2	・コロナ禍の影響もあり他施設との交流は難しかった。次年度、再開の方向で検討していきたい。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	3	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互恵性のある交流になるよう工夫しているか	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	3	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・子育て相談に対してアピール度低かった。地域の皆様に気軽に相談してもらえるよう来年度は充実を図る。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	2	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	3	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	・園だより、SNS などを利用し情報発信を行ったが、次年度はホームページでの発信も増やしていきたい。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立っているか	3	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	1	・コロナ禍で外部の方を招くのが難しかったため次年度は検討していく。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	3	
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・掲示板の設置はバス通園の利用者もいるため(掲示板が見れない)歩き通園の保護者との平等な情報提供を工夫していく検討をしていく。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	3		

<p>経理出納</p>	<p>・各種会計を適正かつ適切に処理しているか</p>	<p>4</p>	
-------------	-----------------------------	----------	--

成果

- ・育児担当制を始め、職員と試行錯誤しながらの保育運営だったが、設定保育時より子どもたちの姿が変わり、子ども達が主体的に遊び、一人ひとりの発達にあった関わりができた。
- ・課業（わらべうた、文学、環境認識、毎日体操、描画）を導入し、子ども達が色々なことに興味を持ち、遊びを通して学ぶことができた。
- ・視察や地方研修へ行くことで職員のモチベーションがあがり、保育にも良い影響を与えられた。
- ・りとるおりんぴっく、生活発表会、作品展では、子ども達が主体的に関わり、普段の保育内容を感じることができるようになった。
「日々の保育に工夫を凝らし子どもが楽しく通えています」、「他の園とは違う発表内容でいつも楽しみです」など、保護者の方のご意見がとても嬉しかった。
- ・コロナ禍もあり思うような行事が行えなかったが、子ども達が楽しい!と思えるような保育・教育に工夫・提案ができた。
- ・ブログや SNS で子どもたちの姿を発信し、保護者との会話も以前より楽しいものとなった。
- ・作品展ではクラスでテーマを設けるスタイルから「個人の作品」に変えたところ、保護者から「4月からの成長が伺えた内容でとてもよかった」、「ボリュームがあり、見ごたえのある作品展だった」とご意見をいただいた。
- ・給食指導では適量を知る活動を始め、嫌いなものも少し頑張って食べてみようとする姿もあり、保護者の方から家でも食べられるようになったお話をいただいた。
・保育者は個人の自己評価をつけることで子ども理解など日頃の言動について振り返るきっかけになり、実践面でその後の意識改革につながった。
- ・年3回、ハンガリーより講師を招き保育を見てもらったことにより保育の質の向上が少しずつたができた。

課題

- ・アフターコロナの保育はどうあるべきか。多様な経験の機会を持つために職員間で話し工夫したが、なかなか実践することは難しかった。また、年間行事も予定を組むのが難しかった。
- ・コロナ禍で取組むことができなかったクッキング・食育・季節の行事など保育活動を増やしていく。
- ・子どもたちの姿を見てもらう機会を増やそうと予定したが、感染症のため実施することができなかったため次年度は開催時期等検討していく。
- ・担任だけでなく園全体で保護者の支援を行い、情報や支援の方向性について情報共有することが重要と感じた。
- ・コロナ禍で小学校との連携も受け入れてもらえず、ここ数年できていない。

改善策

- ・全学年で行事を行い、楽しめるよう工夫していく。
- ・主幹教諭が各クラスにフォローに入ることで担任や保護者の思いや悩みを把握し相談役になることができる。これらの情報を主幹教諭・管理職で共有しながら子育て支援の方向性を話し合い、園全体で連携しながら子育て支援に取り組んでいきたい。
- ・保護者へは、園の方針や子供の様子、参観の実施などで様々な機会をとらえて保育内容について啓発していきたい。
- ・年度初めに各学年で「育てたいこども像」について話し合いを持ち、1年間の見通しを立てた保育ができるよう取り組んでいく。
- ・子どもや保育教諭間で伝え合う言葉が肯定的になるよう職員会議や研修等で学び合う機会を作る。
- ・年間を通して保護者には行事予定を早めに知らせていく。
- ・課業（環境認識）では、子どもの発達にあった物が提供できるよう更に学びを深めていく。

